NISTEP REPORT No.125 「理工系大学院の教育に関する国際比較調査」(第4章P.269~384から抜粋)

東京大学 広島大学 メリーランド大学カレッジパーク校 カリフォルニア大学バークレー校 機械工学Ph.D.プログラム 工学系研究科 工学研究科 機械工学Ph.D.プログラム 機械工学専攻 機械システム工学専攻 修士課程を修了するためには、所要科目を履修 大学院学則で、博士前期課程30単位以上が必要であると定められている。博士後期 して30単位以上を修得しなければならない。 入学直後の学生は、まず1 つの主専攻 2008 年度に入学した修士課程の学生において 課程の必要単位数について定めはないが、必修科目(機械システム工学講究Ⅲ~Ⅴ)が (Major)と2 つの副専攻(Minors)を決定する。 は、原則として、機械工学特別演習! の6 単位以 設定されている。 36 単位(units)以上の履修が必要であるが、必 外に、授業科目表における共通基盤分野から4単 2001年、大学院重点化に伴い、教育カリキュラムの改定を行った。機械工学分野を3 修科目と定められている科目はない。ただし、コ 位、選択した一つの専門分野から10単位、その他コース((1)生産科学コース、(2)設計工学コース、(3)エネルギー工学コース)に分けて ア科目の3~4 科目は履修が強く推奨されてい の専門分野から6単位の計20単位を、取得しなけ教育すべき内容を設定している。コース毎に共通して必要な授業科目をコア科目(8科 る。選択必修科目は、主専攻分野、副専攻分野 目)として指定している。それ以外に専攻で開設されている38 科目を専門科目としてい ればならない。 (2 分野)より選択となる。主専攻の場合には6 アカデミック、ノンアカデミックのいずれに進むにる。学生は自分の所属するコースに応じて 科目、副専攻の場合には3科目を履修すること しろ必要となる内容は共通基盤とし、自分の専門 □ 自分のコースのコア科目から4 科目8 単位以上、 が推奨されている。 分野に加えて他分野から授業科目をとらなければ □ それ以外のコア科目および専門科目の必修と選択科目から16 単位以上 なお、主専攻分野は、以下に挙げた分野から 大学院のコースワークから42 単位(credits)以 □ 工学研究科共通科目の必修を含めて4 単位以上、 ならないようにしている。 上が必要であり、少なくとも18 単位(credits)は 選択する。 なお、「機械工学特別演習I」は、各教員が課題を 🗆 自専攻の開設科目、他専攻の開設科目(特別講義を除く)、前述以外の共通科目 UMCP のコースワークでなければならない。つ ☐ Bioengineering 与え、この研究、実験の結果を修士論文として提 から34 単位以上を取得する。 まり、他の認定された大学の大学院コースワー □ Combustion 出するものである。同様に、「機械工学特別演習II」 2008 年度に授業時間割表の改定を行い、講義をできるだけ午前中に集め、午後は研 コースワーク クの24 単位(credits)までは、アドバイザーと大 ☐ Controls は、各指導教員が研究課題を与え、その研究結果 究指導が受けられるように設計している。また開設講義を前期、後期に分散させ、受講学 学院Committee の許可のもとで含めることがで □ Design を博士論文として提出するものである。研究活動 生数が特定時期に過剰に授業科目を履修することのないようにしている。 きる。すべての単位(credits)は600 レベル以上 □ Dynamics に関連する指導であり、具体的には研究計画の立 なお機械システム工学専攻では大講座制をとっており、各講座と教育科目が以下のよ から得たものでなければならない。また。数学か 口 Fluid Mechanics 案、マネジメント能力、問題解決能力などを重点的 うに対応している。 ら6 単位(credits)取得する必要がある。 ☐ Heat Transfer 履修登録はオンラインシステムで学生が直接登録するため、指導教員による履修指導 な教育目標とするものである。 ☐ Manufacturing 授業科目は以下のように共通基盤と専門分野に は行われていない。以前は「紙媒体」で指導教員による捺印が必要であったが、システム ☐ Materials 分けられている。専門分野は5 領域に分類されて 化により不要となったためである。広島大学工学研究科の大学院カリキュラムの特徴とし ☐ MEMS おり、専門分野以外もとらなければならないようにて、教育プログラムの国際化を積極的に進めていることが挙げられる。 ☐ Ocean Engineering 具体的には、博士前期課程では、全講義の英語化(当面は講義資料の英文化に着 している。 ☐ Solid Mechanics 2007 年度以降の入学者(修士課程)について 手)、海外インターンシップ、海外共同研究、4-D型プログラム(4D型の「D」はDoubleを ☐ Continuum Mechanics は、履修計画表に必要事項を記載し、指導教員の 意味しており、特徴のある海外協定校と密接に連携し、学生を相互に派遣して両校の教 TA(GSI: Graduate Student Instructor)を勤め 署名・捺印を受ける必要がある。 員が研究指導を実施することにより、指導教員のダブル化、教育場所のダブル化、派遣 るには、教授法の授業(ME301)履修が前提と のダブル化、および交流方向のダブル化の4 つの「D」を実現する)を推進している。博士 博士課程の学生については工学系研究科規則 なっているため、事実上必修である。 後期課程では留学生向けに「技術移転がわかる留学生プログラム」を推進している。 によって、20単位以上を修得しなければならな RA(GRA)、TA(GTA)制度がある。GTA を希望 GSI(TA)については、在籍中に1 学期行うことが する外国人学生は、英語要件として、Maryland 義務づけられている。GPA3.1 以上の場合に推 RA/TA English Institute (MEI)によるevaluation program 薦される。 へ参加した後でなければ、GTA が認められな 年2回、学期はじめに実施される筆記試験で ある。全体の成績がGPA3.3 以上の学生のみ受 験できる。9 分野から主専攻を含む3 分野に合 Preliminary Examination 格する必要がある。不合格の場合、再試験は1 度のみ可能である。 テーマは、試験委員会が指定するもので、受 験者のリサーチワークとは異なる分野である。 どの分野に進むにも必要となる研究テーマ (Research Agenda)を見つけられる能力を身に つけさせることをねらっている。 口頭試験。主専攻4 科目、副専攻各2 科目を 指定されたテーマ(学生には10 日前に通知さ Qualifying Examination 指定の成績以上で修了後に受験可能。 れる)に関する文献学習を行い、指定された フォーマットでのサマリーを口述試験の3日前ま でに提出する必要がある。口述試験では15分 間のプレゼンテーションの後、質問(テーマに直 接関係ない場合もあり)が行われる。

第4-18図表 東京大学工学系研究科機械工学専攻の科目

	分野名	講義內容
共通基盤	応用数学、数値解析、情報と計測、科学技術英語、他	
専門分野	固体力学·材料分野	弹性学、塑性学、破壊強度学、表而工学、結晶学、計算材料科学、他
	熱·液体分野	熱工学、熱流体工学、数値熱流体工学、分子熱流体工学、エネルギー変換工学、 他
	機力·生産分野	機械力学、制御工学、振動工学、振動音響学、車両工学、ロボティクス、他
	設計·生産分野	機械・システムの創造設計手法、極・超微細加工計測技術の原理と応用、先端加 工技術の基礎と応用、他
	バイオ分野	生体イメージング、再生医工学、バイオマニピュレーション、バイオメカニクス、他

出典:東京大学大学院工学系研究科機械工学・産業機械工学専攻案内(授業科目の履修・修士論文の執筆などについて)より作成

第4-25図表 広島大学工学研究科機械システム工学専攻の科目

科目区分	舰修区分	科目名	配当年次
コア科目	選択必修	精密工作学特論	1または2
		材料物理学特論	1 生たは2
		応用物理学特論	1または2
		弹塑性学特論	1 また(土2
		設計学特論	1 または2
		材料強度学特論	1 または 2
		材料プロセス特論	1または2
專門科目	必修科目	機械システム工学講究Ⅰ	1
		機械システム工学講究Ⅱ	2
		機械システム工学講究Ⅱ	3(博士後期課程1年)
		機械システム工学講究IV	4(博士後期課程2年)
		機械システム工学講究V	5(博士後期課程3年)
		機械システム工学セミナー1	1
		機械システム工学セミナーⅡ	2
	選択必修科目	(複数)	1または2
	自由選択科目	(複数)	1 または 2

第4-26図表 広島大学機械システム工学専攻の教員と科目対応

大講座	教育科目	教授	准教授・講師	助教
	材料複合工学		••	
	材質制御工学	••	• •	••
機械材料工学	材料成形工学		••	••
提供付杆工子	材料物理学		••	••
	工学基礎(留学生)		••	
	材料強度学	••	••	
	然工学		-14	
	反応気体力学			
エネルギー工学	燃燒工學	••	••	••
	プラズマ基礎科学	••	••	
	量子エネルギー工学	••	••	••
	材料力学	••	14	
設計工学	機械力学		••	
なれる十	機械要素学			
	流体工学	••	• •	
	生産システム	••	••	••
知能化生產工学	制御工学	••	• •	
加能化工度工子	機械加工システム	••	••	••
	弹型性工学			

出典:広島大学ウェブサイト(http://www.hiroshima-u.ac.jp/mec/labo/index.html)

第4-34図表 Ph.D.プログラムのコースワーク(UMCP 機械工学)

(ear	No	Courses
	ENME 600	Engineering Design Methods
	ENME 601	Manufacturing Systems Design and Control
	ENME 602	MEMS Device Physics and Design
	ENME 603	Advanced Mechanisms and Robot Manipulators
	ENME 605	Advanced Systems Control
		Engineering Optimization
	ENME 611	Geometric Modeling for CAD/CAM Applications
	ENME 616	Computer-Aided Manufacturing
	ENME 625	Multidisciplinary Optimization
	ENME 627	Manufacturing with Polymers
	ENME 631	Advanced Gonduction and Radiation Heat Transfer
	ENME 632	Advanced Convection Heat Transfer
	ENME 633	Molecular Thermodynamics
	ENME 635	Energy Systems Analysis
	ENME 640	Fundamentals of Fluid Mechanics
	ENME 641	Viscous Flew
	ENME 642	Hydrodynamics I
	ENME 644	Fundamentals of Acoustics
	ENME 646	Computational Fluid Dynamics
	ENME 647	Multiphase Flow and Heat Transfer
	ENME 656	Physics of Turbulent Flow
	ENME 657	Analysis of Turbulent Flow
	ENME 660	Miroelectronic Components Engineering
	ENME 661	Dynamic Behavior of Materials and Structures
	ENME 662	Linear Vibrations
	ENME 664	
	ENME 665	Dynamics Advanced Texton in Wheetless
		Advanced Topics in Vibrations
	ENME 667	Turbulence Simulations
	ENME 670	Continuum Mechanics
	ENME 672	Composite Materials
	ENME 673	Energy and Variational Methods in Applied Mechanics
	ENME 674	Finite Element Methods
	ENME 677	Elasticity of Advanced Materials and Structures
	ENME 678	Fracture Mechanics
	ENME 680	Experimental Mechanics
	ENME 684	Modeling Material Behavior
	ENME 690	Mechanical Fundamentals of Electronic Systems
	ENME 693	High Density Electronic Assemblies and Interconnects
	ENME 695	Failure Mechanisms and Reliability
	ENME 700	Advanced Mechanical Engineering Analysis I
	ENME 704	Active Vibration Control
	ENME 705	Non-Newtonian Fluid Dynamics
		Impact of Energy Conversion on the Environment
	ENME 707	Combustion and Reacting Flow
	ENME 710 ENME 711	Applied Finite Elements
		Vibration Damping
	ENME 712	Measurement, Instrumentation and Data Analysis for Thermo-Fluid Processes
	ENME 760	Mechanics of Photonic Systems
	ENME 765	Thermal Issues in Electronic Systems
	ENME 770	Life Cycle Cost and System Sustainment Analysis
	ENME 775	Manufacturing Technologies for Electronic Systems
	ENME 780	Mechanical Design of High Temperature and High Power Electronics
	ENME 785	Experimental Characterization of Micro- and Nanoscale Structures
	ENME 788	Seminar
	ENME 799	Master's Thesis Research
		Advanced Topics in Mechanical Engineering Micro-Electro-Mechanical Systems I (MEMS I)
	ENME 808B	
	ENME 808D	SUSTAIN ENRGY PRD & UTIL
	ENME 808G	FLEXBLE MACROELECTRONICS
	ENME 808P	
	ENME 808R	
	ENME 808Y	
	ENME 808Z	ELECTRONIC PROD DEVELOP
	ENME 898	Pre-Candidacy Research
	ENME 899	Doctoral Dissertation Research

出典: UMCP ウェブサイト(http://www.enme.umd.edu/grad/phd-req.html)より作成

第4-44図表 Ph.D.プログラムのコースワーク(UCB 機械工学)

NO	Courses
C212	Heat and Mass Transport in Biomedical Engineering
C213	Heat and Mass Transport in Biomedical Engineering Fluid Mechanics of Biological Systems
C214	Advanced Tissue Mechanics
C217	Biomimetic Engineering — Engineering from Biology
C218 C219	Introduction to MEMS Design
220	Microelectromechanical Systems (MEMS)
221	Precision Manufacturing High-Tech Product Design and Rapid Manufacturing
227	Advanced Manufacturing Processes
222 0223	Polymer Engineering
224	Mechanical Behavior of Engineering Materials
C225	Deformation and Fracture of Engineering Materials
226	Tribology
227	Mechanical Behavior of Composite Materials
228	Computer Aided, Optimal Mechanical Design
229	Design of Basic Electro-Mechanical Devices
232	Real-Time Applications of Mini and Micro Computers Advinced Control Systems I
233	Advanced Control Systems II
234	Multivariable Control System Design
235	Switching Control and Computer Interfacing
0236	Control and Optimization of Distributed Parameters Systems
237	Control of Nonlinear Dynamic Systems
239	Advanced Design and Automation
240A	Advanced Marine Structures I
240B 241A	Advanced Marine Structures II
241A.	Marine Hydrodynamics I
243	Marine Hydrodynamics II Advanced Methods in Free-Surface Flows
251	Heat Conduction
252	Heat Convection
253	Thermal Radiation
254	Thermodynamics I
256	Combustion
257 256	Advanced Combustion
	Heat Transfer with Phase Change
259	Microscale Thermophysics and Heat Transfer
260A 260B	Advanced Fluid Mechanics II Advanced Fluid Mechanics II
260D	Advanced Fluid Mechanics IV
262	Theory of Fluid Sheets and Fluid Jets
263	Turbulence
266	Dynamics and Stability of Engineering and Geophysical Flows with Rotation, Convection, or Waves
267	Geophysical Fluid Mechanics
C268	Physicochemical Hydrodynamics
273	Oscillations in Linear Systems Random Oscillations of Mechanical Systems
274	Random Oscillations of Mechanical Systems
275	Advanced Dynamics
280A	Oscillations in Nonlinear Systems Introduction to the Finite Element Method
2908	Finite Element Methods in Nonlinear Continua
281	Methods of Tensor Calculus and Differential Geometry
292	Theory of Elasticity
283	Wave Propagation in Elastic Media
284	Nonlinear Theory of Elasticity
285A	Foundations of the Theory of Continuous Media
285B	Surfaces of Discontinuity and Inhomogeneities in Deformable Continua
285C	Electrodynamics of Continuous Media
286	Theory of Plasticity
287	Multiscale Modeling and Design of New Materials
289	Theory of Elastic Stability Theory of Shelin
290A	Nonlinear Dynamics of Continuous Systems
290C	Topics in Fluid Mechanics
2900	Solid Modeling
2900	Laser Processing and Diagnostics
290H	Green Product Development: Design for Sustainability
290L	Introduction to Nano-Biology
290M	Expert Systems in Mechanical Engineering
290N	System Identification
290P	New Product Development, Design Theory and Methods
290Q 290R	Dynamic Control of Robotic Manipulators Topics in Manufacturing
C290S	Hybrid Systems and Intelligent Control
290T	Plasmonic Materials
2902	Topics in Control, Modeling and Optimization
298	Group Studies, Seminars, or Group Research
C298A	Topics in Fluid Mechanics
299 602	Individual Study or Research Individual Study for Doctoral Students

出典:UCB ウェブヤ